

日本クルーズ&フェリー学会・総会講演会
2023.11.18 東京国際クルーズターミナル

ポストコロナのクルーズ事情について



池田良穂

日本クルーズ&フェリー学会事務局長

大阪府立大学名誉教授・大阪公立大学客員教授

コロナ禍中及び後の私的クルーズ体験

- 2020.2 「ダイヤモンド・プリンセス」船上新型コロナ集団感染発生
- 2020.7 「おれんじおおさか」ワンナイトクルーズ(大阪南港～東予港往復)
- 2020.11 「ぱしふいくびいなす」1泊トライアルクルーズ
- 2020.12 「にっぽん丸」神戸～別府クルーズ
- 2022.12 「ぱしふいくびいなす」クルーズ
乗船直前にコロナ感染で乗船できず!!
- 2022.12 「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」
シンガポール発着マレーシア・タイクルーズ
- 2023.6 「アンセム・オブ・ザ・シーズ」
サウサンプトン発着 1wノルウェーフィヨルドクルーズ
- 2023.7 「アンセム・オブ・ザ・シーズ」サウサンプトン発着 2w地中海クルーズ
- 2023.7 「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」シンガポール発～日本着クルーズ
- 2024.3 予定:「オアシス・オブ・ザ・シーズ」マイアミ発着1wカリブ海クルーズ



1週間ノルウェークルーズ

サウサンプトン⇒ベルゲン⇒
オルデン⇒スタバンガー⇒
クリスチャンサンド⇒サウサンプトン

2週間地中海クルーズ

サウサンプトン⇒リスボン⇒
バルセロナ⇒ビレフランチェ(ニース)
⇒チビタベッキア⇒ナポリ⇒
ジブラルタル⇒サウサンプトン



スペクトラム・オブ・ザ・シーズ

ノルウェークルーズ



地中海クルーズ



ブリタニア



アンセム・オブ・ザ・シーズ

英国のクルーズハブ港
サウサンプトン
クルーズターミナル5ヶ所整備

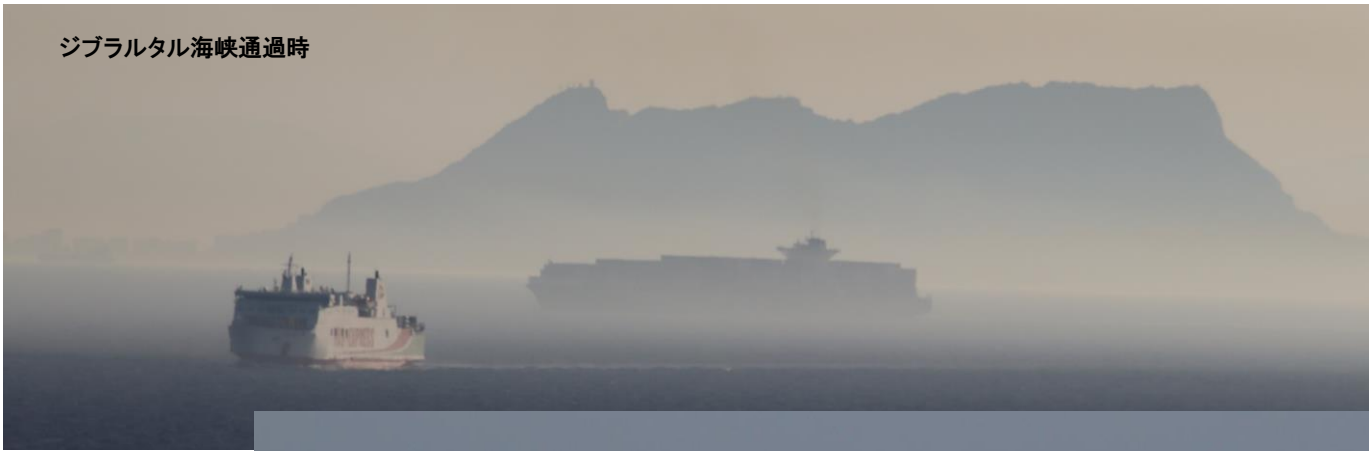


クイーンメリー2



リーガル・プリンセス

ジブラルタル海峡通過時



バルセロナ港停泊時



ナポリ港着岸時

フランス・ビレフランチェ



ポストコロナ禍のクルーズの印象

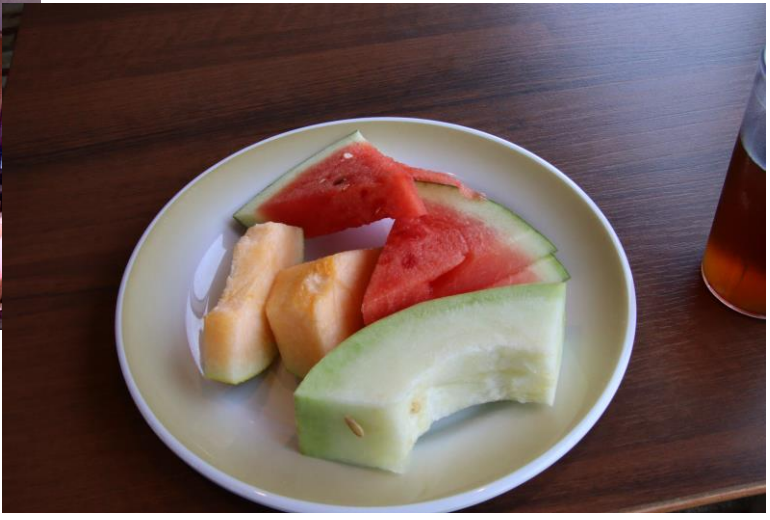
- 欧州クルーズは超満船: 消席率110%
- クルーズ価格はかなり上昇、しかし陸上よりは上昇率が低い
- クルーズ旅行のコスパ急上昇
- リピーター客の比率が上昇(60%近くに)
- リピーター客優遇策の徹底(クラウンアンカーソサイエティ、キャプテン主催パーティ、専用ラウンジ、飲み物サービス(1日4杯無料)・・・)

シンガポール発日本クルーズ



アジアクルーズでも46%のリピーター







大型船の寄港地 下船CIQ対策

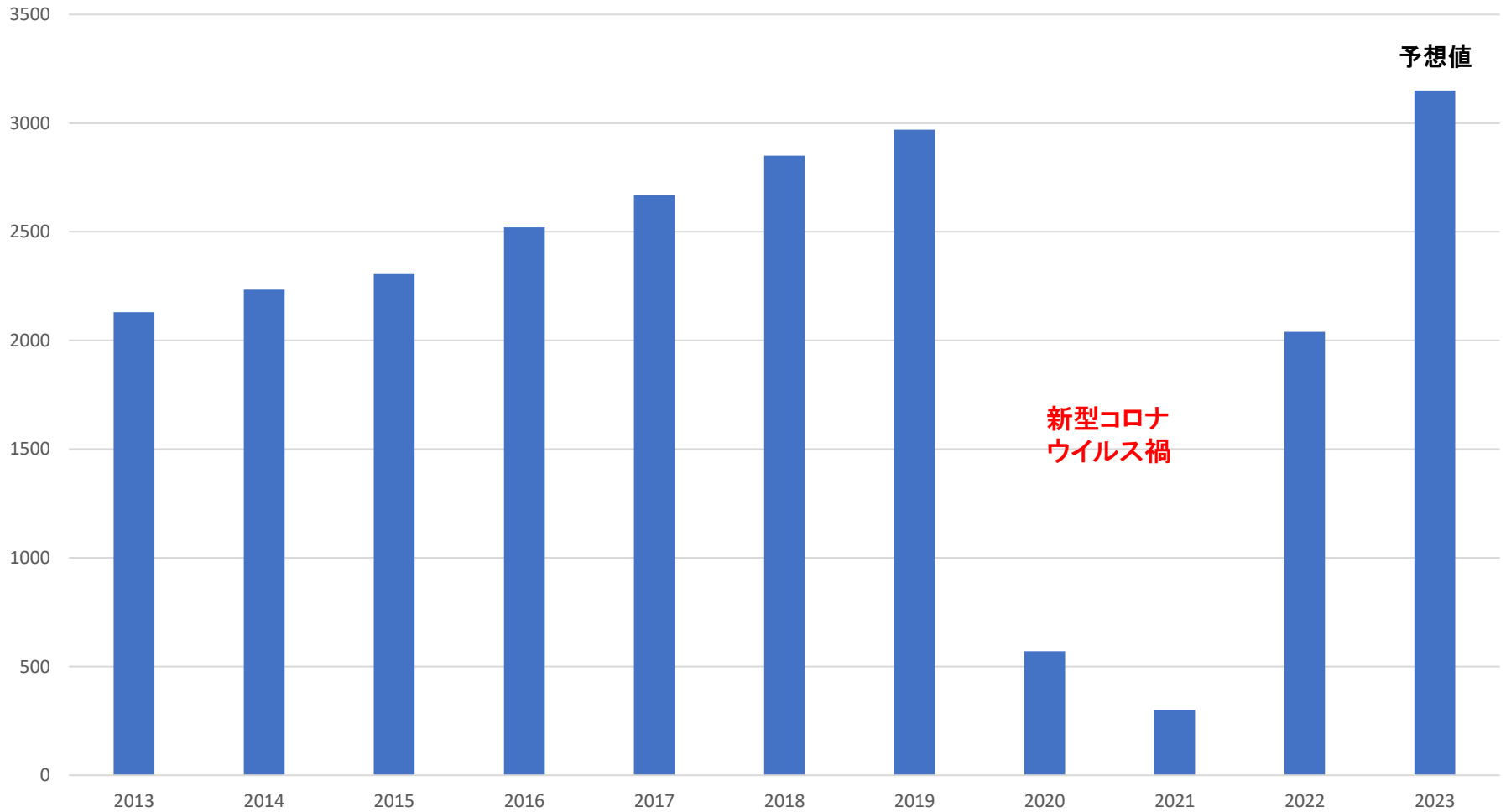


2024年の乗船計画

- 1～2月 MSC ベリッシマ
(沖縄クルーズ)
- 3月 オアシス・オブ・ザ・シーズ
(カリブ海)
- 夏
- 秋

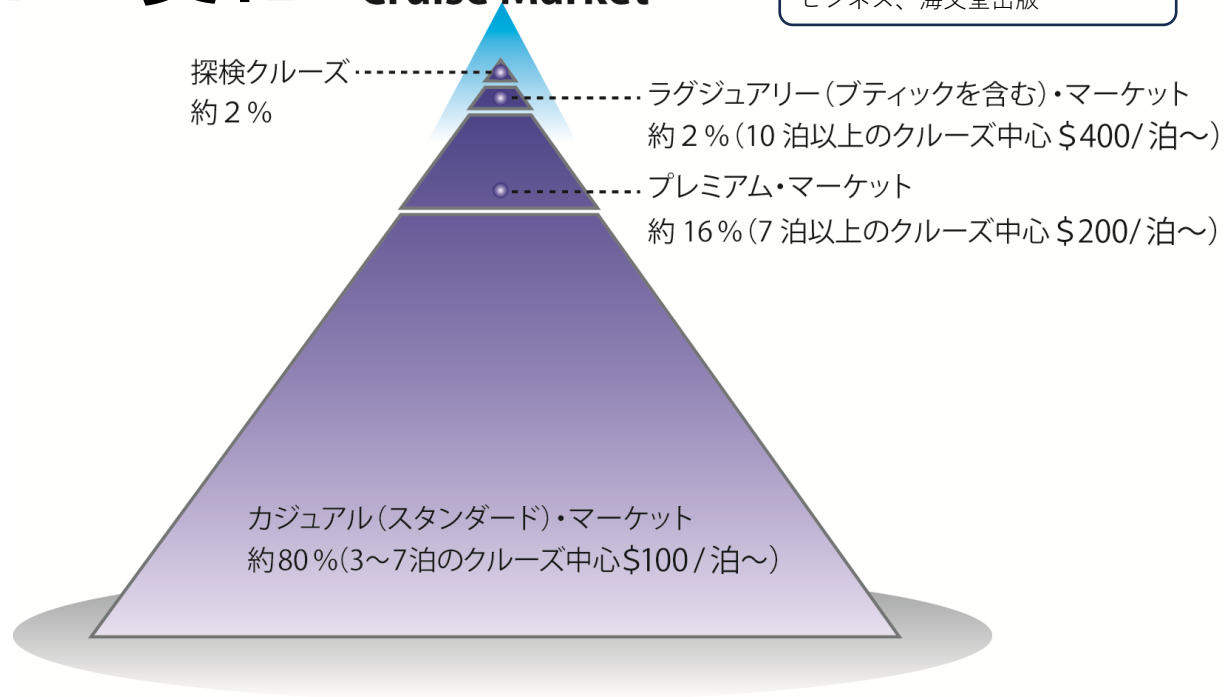


世界のクルーズ人口の推移

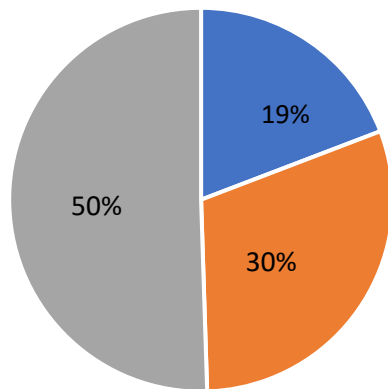


クルーズマーケットの変化 Cruise Market

池田良穂著:基礎から学ぶクルーズ
ビジネス、海文堂出版

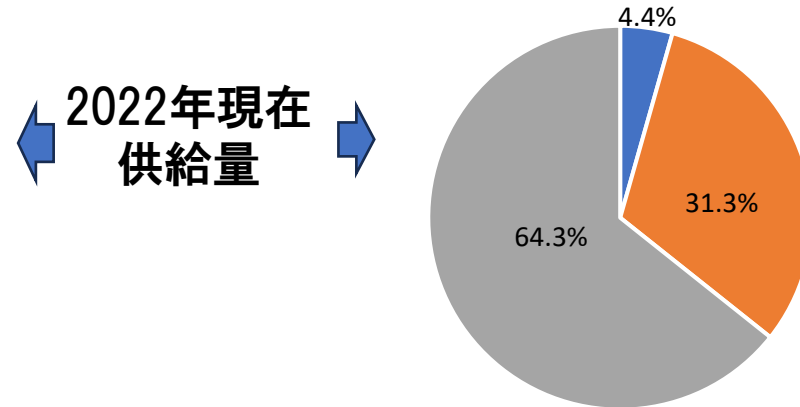


クルーズ客船隻数



■ ラグジュアリー ■ プレミアム ■ カジュアル

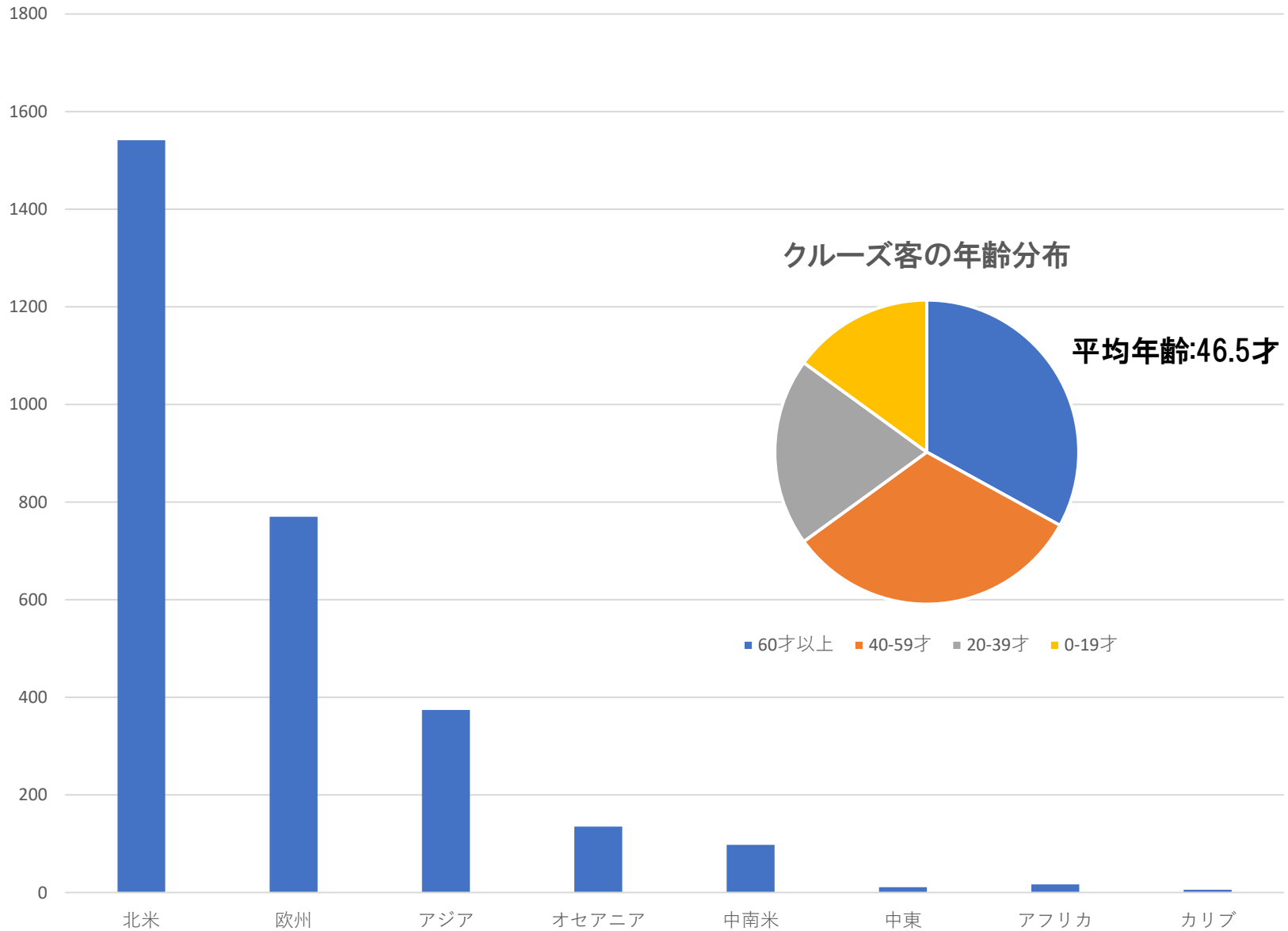
クルーズ客船下段ベッド数



■ ラグジュアリー ■ プレミアム ■ カジュアル

← 2022年現在
供給量 →

クルーズ客ソースマーケット(万人)



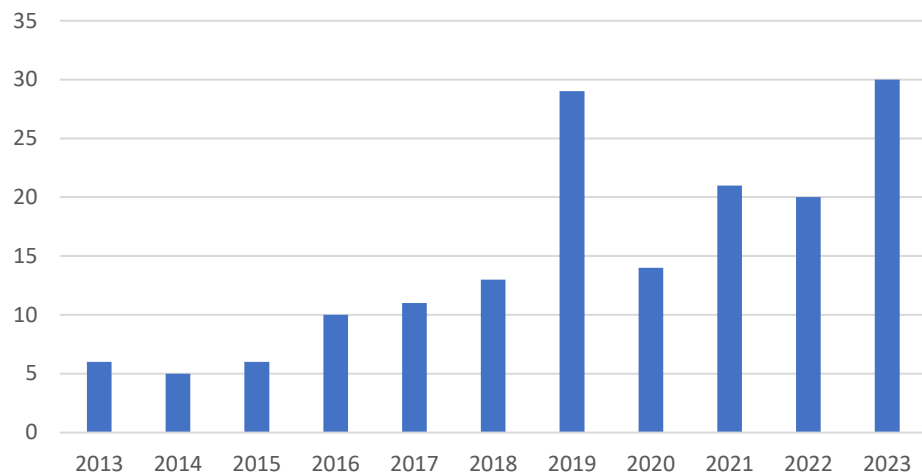
ラグジュアリー・プレミアム・カジュアルの カテゴリー分け??

- 昨年度本学会講演会での百武氏の指摘
⇒クルーズ船の分類の仕方が時代に合っていない
なっている!!
- モノクラス(料金差は船室の違い)⇒クラス分けの復活(レストランのみ⇒一部公室)
- プレミアム船とラグジュアリー船の融合
キユナード、商船三井客船、セレブリティ、……
- 巨大カジュアル船内のプレミアム・ラグジュアリークラス設置
MSC(ヨットクラブ)、RCI、……
例: 20万総トン=18万トン級カジュアル船区画+2万総トン級ラグジュアリー船区画
- 小型ラグジュアリー船と探検船の融合

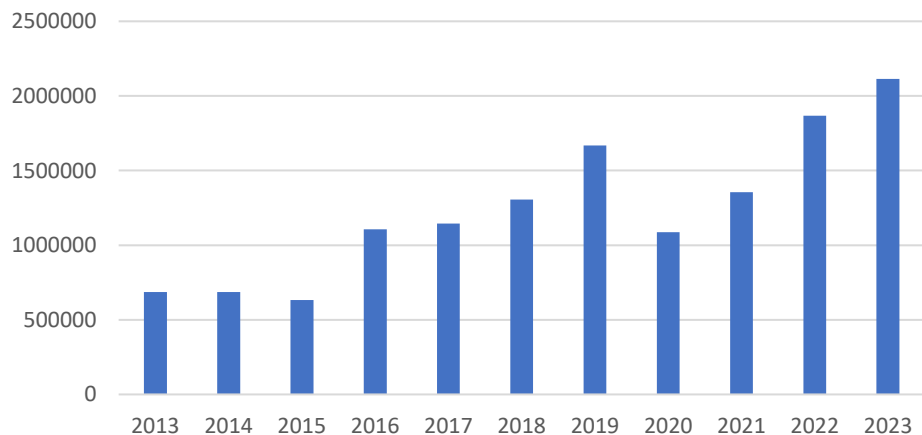
- Large resort ships
- Mid-size ships
- Boutique ships

クルーズ客船新造の推移

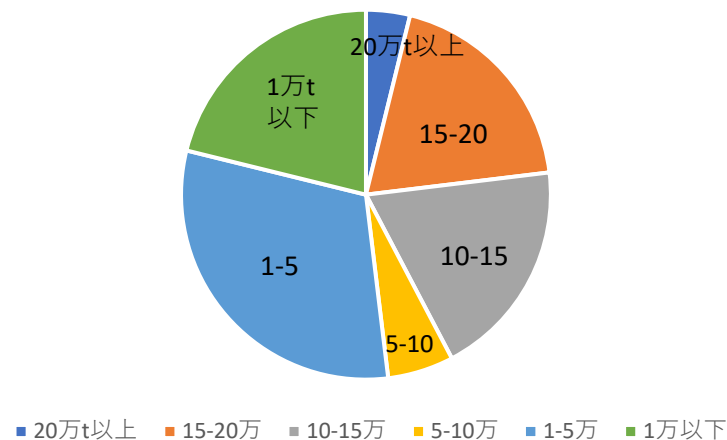
新造クルーズ客船(隻数)



新造クルーズ客船(総トン数)



2020~2022年新造船 総トン数別隻数



新造の傾向は、隻数では
10万総トン以上の巨大船と
5万総トン以下の小型船に
二極化

コロナ禍中の新造と解体

- 積極的な新造継続

- 2020年14隻27,032床

- 2021年21隻33,604床

- (17~18万総トン級6隻を含む)



- 積極的な解体

- 1980~1990年代建造の7万総トン級船が多数解体へ

- 2020年11隻17,828床

- 2021年12隻12,596床

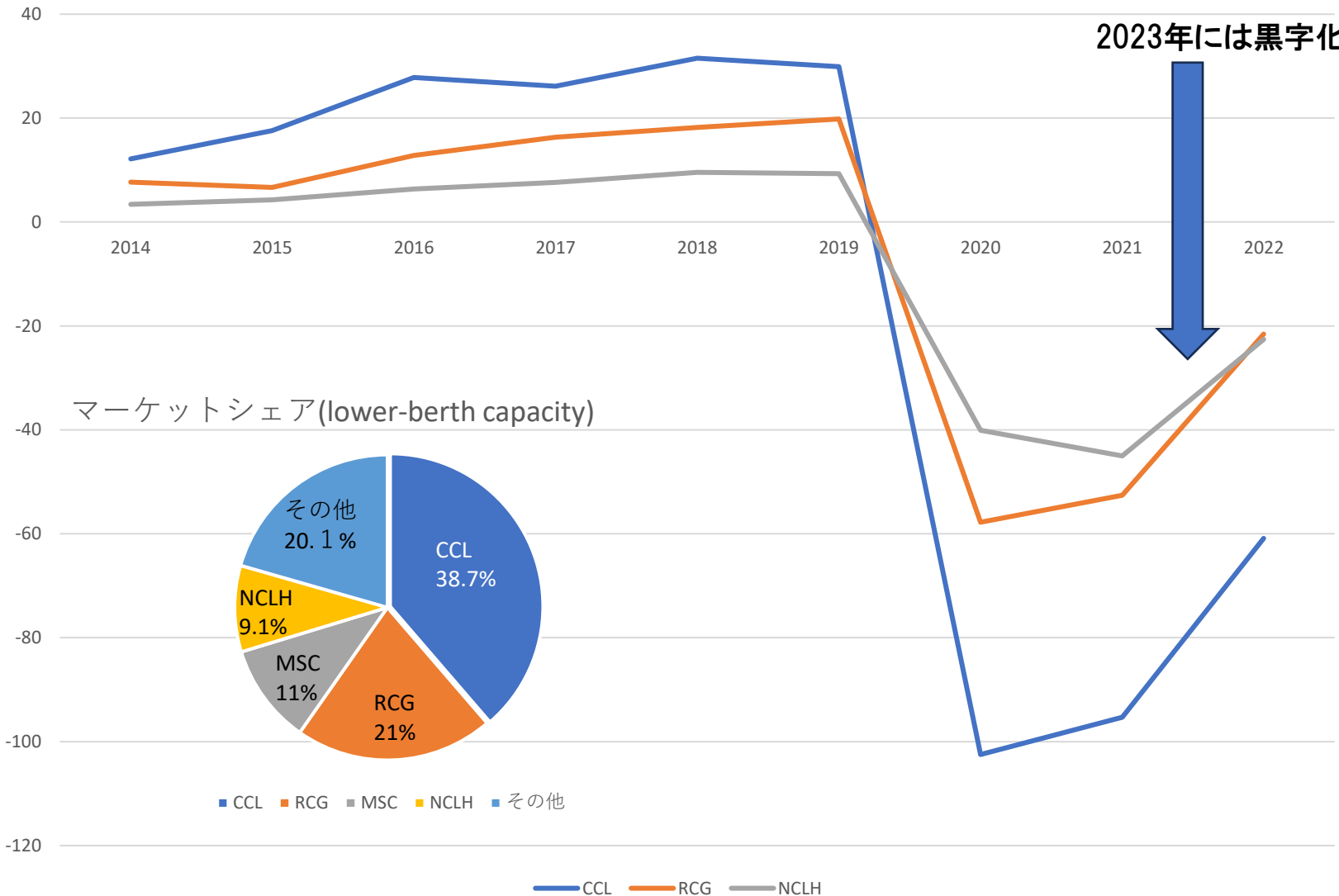


- コロナ禍中に、**12隻増、30,212床増**

- 一気に船質改善⇒コロナ禍後の急激な業績改善につながる

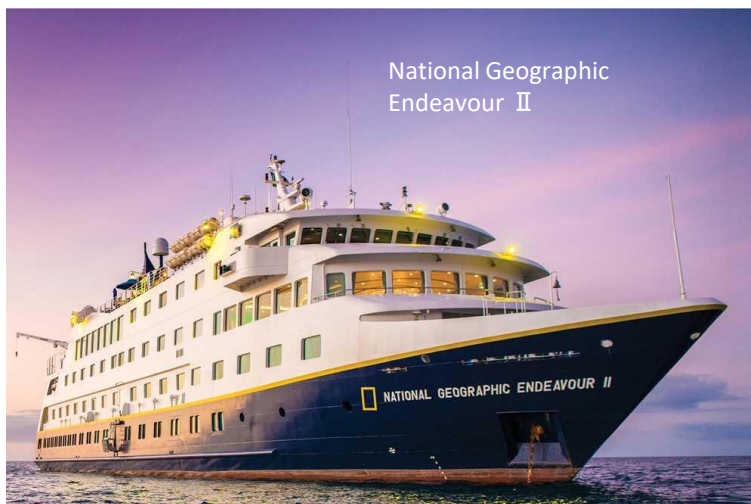
大手クルーズ会社の経営状態(億ドル)

米大手3社のNet Results

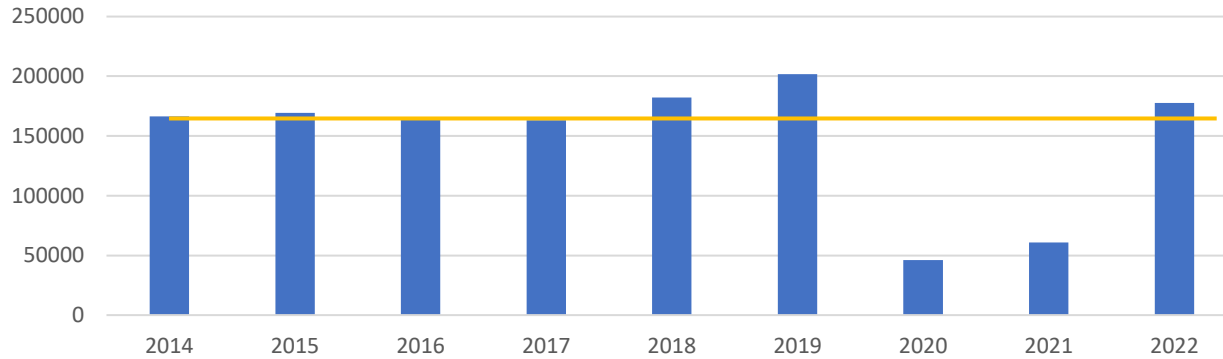


探検クルーズの企業分析の一例 (老舗リンドブラッドの場合)

総ベッド数992

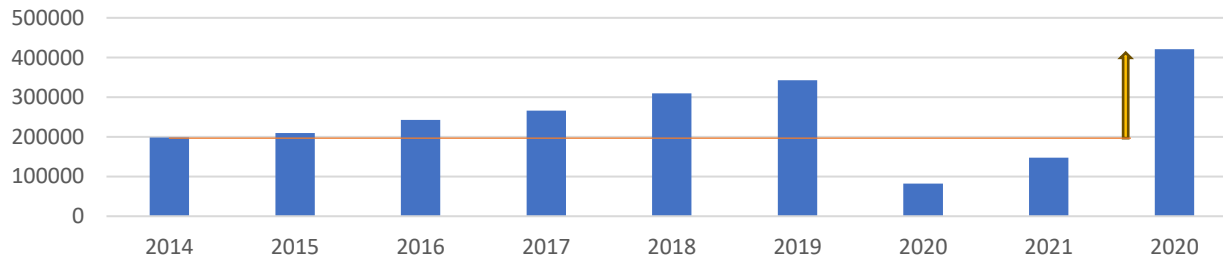


Lindblad Expeditions 年間人泊数実績



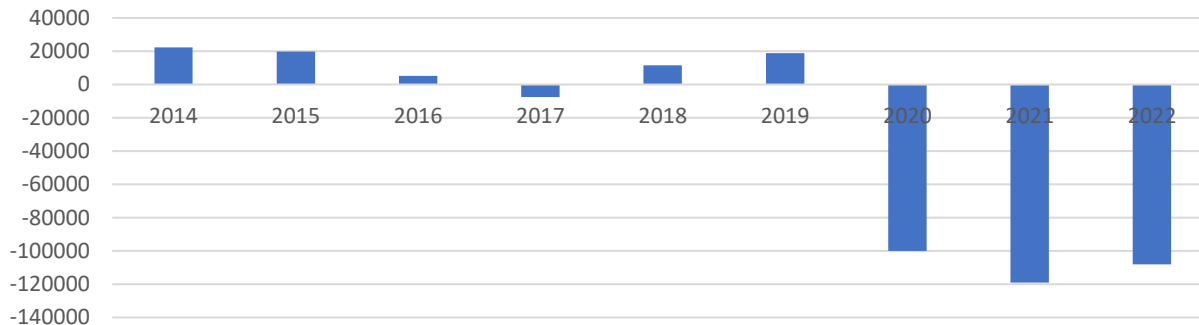
- ・ 需要水準はほぼ一定(消席率は約50%?)
- ・ 需要はコロナの影響からほぼ脱出

Lindblad Expeditions Revenues



- ・ 収入は10年間でほぼ倍増
⇒客単価倍増

Lindblad Expeditions Net results



コロナ禍の借金の影響から抜け出せず!!